

9/4
・5

しらかわ地域 企業展示交流会

●東京第一ホテル新白河（新白河駅前）

参加した高校生は、県南地方の企業担当者から仕事内容などさまざまな話を直接聞いて、卒業後の進路選択の幅を広げました。

また、少子高齢化による企業の人手不足解消につなげるため、新たに県内外の大学や専門学校などの学生も参加し、各企業と交流しました。



9/6

第65回 白河市発明展表彰式

●東公民館（東釜子）

発明展は、子どもたちがモノづくりを通して、発明工夫の楽しさを体験することで、創造力や発明思想の高揚を図ることを目的に開催されています。応募作品432点の中から、信夫二小の近内蒼真さんの作品『ふとんが落ちないふとんばさみ』が、白河市長賞を受賞しました。



▲市内小中学校から20人が各賞を受賞しました

8/30
ほか

市長と語る 「しらかわ未来フォーラム」

●市内各中学校

将来の白河を担う市民としての自覚を高めるため、市内の中学生と市長が、市政の現状や将来について直接懇談しました。

- 生徒からは、以下のような提案がありました。
 - ◆白河の歴史をまずは市民が知り、祭りなどにも積極的に参加して次世代へつなぐことが大切
 - ◆太陽光発電による再生可能エネルギーや、空き店舗の活用など産業の発展が必要
 - ◆通学路の整備や不審者対策など、安心・安全なまちづくりをしてほしい など
- フォーラムを通して、中学生は市政への関心を高め、郷土愛を育みました。

また、東中・東北中・表郷中では、生徒と市長がともに給食を食べ、交流を深めました。



9/7

しらかわ郷里マラソン

●東風の台運動公園（東釜子）ほか

残暑の厳しい日差しの中、沿道から熱い声援を受け、全国各地から集まった1,100人を超えるランナーが各コースを駆け抜けました。

5コース24種目競技のほか、参加者向けのランニングレッスンや、バルーンアートのお笑いライブも行われ、会場は盛り上がりしました。



▲がんばれゆうすけさん（中央）も一緒に走りました

9/16

早稲田大学 三津巴×早混演奏会

●コミネス大ホール

白河市・早稲田大学文化交流事業として、同大学津軽三味線愛好会三津巴と混声合唱団の演奏が披露されました。また、コミネス混声合唱団とコラボ演奏を行い、交流を深めました。15日には、老人ホームせせらぎ会津町や白河学園で演奏を披露するなど、アウトリーチ活動も行いました。



▲津軽三味線でさまざまな曲が演奏されました

8/25

白河市立図書館郷土講演会

●市立図書館りづらん

「徳川幕府の転封政策と白河藩」というテーマで、東京大学史料編纂所の山本博文教授が講演しました。引越し大名と呼ばれた松平直矩や、松平定信など、白河藩は七家二十一代にわたって藩主が替わりました。奥州押さえの地として重視された白河藩の歴史が、さまざまな政治的背景を交えて詳しく解き明かされました。



9/7

中山義秀文学賞作家講演会

●市立図書館りづらん

第17回中山義秀文学賞の受賞者で、2019年直木賞候補者の歴史小説作家・澤田瞳子氏が「白河と伊藤若沖をつなぐもの 松平定信の文化へのまなざし」と題した講演を行いました。

若沖の生涯を、緻密に描かれた作品の画像とともに紹介し、幕府の老中であった松平定信とも関わりがあったかもしれないと持論を展開しました。

